

6 - 1 地球環境の保全

環境への負荷を減らし、地球環境にやさしいまちづくりを進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見（令和3年10月11日 時点）

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組の推進

- ・様々な補助は、持ち家を対象としているようですが、賃貸住宅や賃貸マンションの場合、補助はありませんか？
- ・「環境学習の推進」を取組の柱の一つとして取り上げるとよいと考えます。持続可能な社会づくりに向けて、市民や市民活動団体等への環境問題の理解を進めることが今後一層必要になると考えます。このため、あらゆる機会やニーズを捉え、体験活動も含めた環境学習の機会を提供するとともに、環境学習指導者等の人材育成を進める必要があると思います。
- ・ゼロカーボンシティ宣言について評価できるし、現時点で想定できる事は行っていると思う。省エネ設備への補助金についての取組みも理解できるが、使用量を減らしていく仕組み（センサーの多用やIOT, DXなど）にも展開できるような検討も今後は必要ではないかと思います。リーダーシップをとる所管課が重要。
- ・市民等の理解促進に向けた取組みが困難
- ・自然エネルギーをすすめる我孫子の会は、市民との協同の場となっています。この会の存在は知っていますが、手賀沼課も関わっているようで、この会の実態が正直よくわかりません。もう少し補足があっても良いのではと感じました。

環境負荷低減に向けた取組の推進

- ・施策指標にある「放射能の影響で燃やせないごみなどは除く」と記載があったが、現在でも放射能による影響があるのか気になります。
- ・リサイクル活動の具体的な内容を教えてください。例えば、民間企業では、スマホで参加できる譲渡システム「ジモティー」があります。
- ・焼却施設からの焼却灰を放射能対策のため埋立処分とありますが、土壌汚染は大丈夫なんでしょうか？

- ・ 目的の2番目 市民、事業者、市が～特に事業系の3Rを進めるとありますが、現在はどのような状況で今後事業者を増やすのか、その事業者の取組をもっと進めるのか・・・今後の取組が具体的に見えません 結果HPや広報で市民へ紹介とありますが～取り組みの進行度が良くわかりません～出前講座のことにも触れていますが・・・現在は行われていません、今後の事業内容ですか？
- ・ コンポスト同様に効果がある、一部のマンションで導入されているディスプレイも補助対象の検討をして欲しい
- ・ ごみの減量・リサイクル活動を積極的に実施している推進事業所が具体的にどんな工夫をしているのかを紹介するとよい
- ・ 全ての取組に対して同じ評価はできない。事業内容として、提示する事でもなく、当たり前の事（ex.新廃棄処理施設の設計建築確認やモニタリングなど）あれば、放射線に関わる事など、特有な取組もあるため、一概に評価できない。
- ・ 市民への啓もう活動が少ない様な気がする。 "
- ・ ごみとして排出される種別、量を分析し発生源となる生産過程、用途について抑制を図る。地方自治体の税を投入しての収集、運搬、処理、処分の費用は膨大であり、原因者負担の原則を導入する必要がある。
- ・ 北茨城市の最終処分場で適切な処理がなされているのか、市はどのように確認しているのか。
- ・ 清掃委託業者の運搬、処理、処分の費用は、他市と比べてどうなのか。
- ・ この項目と直接関係ないかもしれませんが、ふれあい工房が閉館されたのは、とても残念ですし、今後、また状況が整えば、こういう施設3Rをアピールしたり、ゴミの減量やリサイクル活動について市民に直接紹介できる場があればと期待しています。
- ・ ゴミの回収については、よく取り組まれていると思っています。ペットボトルなどの回収は2週間に1度なので、スーパーなどの回収口に持っていくことも多いのですが、スーパーなどの回収は我孫子市のゴミ回収とは別のルートと聞いています。我孫子市として、スーパーなどでどんどん回収してもらったほうが良いのか、よくわから

ないのですが、もしそのほうが市の負担も減るのであれば、民間のゴミ回収とも連動していくと良いのではと感じています。

- ・ふれあい工房閉鎖によりリユース・リサイクルのためにリサイクルセンター整備の検討は不要か？
- ・クリーンセンター建て替えにより焼却炉の性能がアップすると国の基準 8000 ベクレル/kg を超える恐れがあるのではないか？

6-2 自然環境の保全

水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見（令和3年10月11日 時点）

水環境の保全

- ・以前より COD 値（水中に含まれる汚れを酸化・分解するために必要な酸素量）が減少し、手賀沼の浄化対策が積極的に取り組まれていると感じている。また、駅前に手賀沼の水質情報が得られるのが良い。
- ・さらなる浄化が求められるという点では、新たに微生物燃料電池などの環境技術を用いた取り組みを取り入れるのは可能かではないかと考える。（微生物燃料電池とは、有機物を分解し電気を発生させる仕組みである。）水質改善には効果的であると考えられる。
- ・手賀沼の浄化が一定に進んでいる現在では、「目標数値」とそれに伴う「効果」（例 手賀沼で安全に泳げる・手賀沼で釣った魚を食べることが出来る等）を打ち出す必要があるのではないか？
- ・排水浄化未だ。
- ・古利根沼に関する啓発活動は弱すぎるのではないかと？
- ・手賀沼をはじめとした水環境については市民、事業者、その他多数の団体の意識が向きやすいのと、時代背景や我孫子の特性から、理解を得られやすいと思うので、自然に良い方向になると考える。しかし、生活排水をはじめ、市民生活との関連になると、話は別なので切り口を分けて考えるか、同じ枠組みで考えるなら、関連性についての情報発信と仕組みが必要だと思う。"
- ・手賀沼の漁業の実態、実績はどの程なのか。県、市との関係は。
- ・2ブロック目の、構成団体 という記載ですが、手賀沼の浄化再生を促すための活動母体ということ？ 表現が少し唐突で、わかりにくい気がしました。
- ・手賀沼は以前に比べて、とてもきれいになったと思います。今後は、手賀沼浄化についての意識が高まるような、催しや活動などを推進していただきたい。

- ・毎年 12 月の清掃は、一般市民の参加はどの程度あるのでしょうか？
- ・水環境の保全について、市民に手賀沼と関わりを持ってもらうような事業とありますが、親子で取り組める事業があればいいと思いました。
- ・利根川に関する取り組みについて、利根川ゆうゆう公園の活性化を図り千葉北西道路の機運の盛り上げにつなげるためにも利根川に関心を高める取り組みの強化が必要

緑地の保全

- ・1 人 1 人の意識の問題ではあるかと思うが、未だ公園などでのゴミの放置が目立つように感じる。
- ・手賀沼沿いの斜面林の保全は以前から課題となっているが、どのような状況が理想なのか見えてこないなので、理想像を打ち出して欲しい。
- ・古利根沼は自然環境が豊かなので、復元に取り組んで欲しい。散策など良いが道順がスムーズでないため行きにくい。道案内看板等検討してほしい。(観光名所にもなりそう)
- ・発展する時代から保全する時代にシフトしてきているように思います。我孫子市の自然環境を次世代に繋げていく計画が必要になってきています。
- ・ごみの不法投棄が後を絶たないのは啓発のみでなく、摘発を徹底し撤去費用の請求、刑事訴追を考慮すべき。
- ・緑の講習会を運営しておりますが、剪定ボランティアの育成まではなかなか到達できないのが現状です。いま高齢者のお困りごとの第一ともいえるのが、庭木の剪定と言われています。これについては、剪定ボランティアを養成するための取り組みが新たに必要と感じています。
- ・ガーデニングなどの緑の講習会を開催し、とっていますが、以前年間 10 講座あった講習会が、今年は 4 講座と、どんどん予算が削られていて、実態とそぐわないような気がしました。公園管理を委託されている業者さんなどと連携して、新たな施策を検討されているなら良いのですが・・・

生態系の保全

- ・ウシガエルはテレビでも放映されていたが既に生態系に加わっているのではないか？（素朴な疑問）
- ・ハクビシンは農作物に被害を与えるし見かけるので防除対象に加えて欲しい。
- ・生態系の保全は「谷津ミュージアム」に集中しているのか？集中しているのであればもっと市民が活用できる工夫が必要ではないか？
- ・緑の講習会の回数をもっと増やして、緑化推進の参加者になっていただくようにする。
- ・外来生物を除去するだけでは減らない。不法投棄、管理責任について費用負担等の責任を追及すべき。

6 - 3 生活環境の保全

快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見（令和3年10月11日 時点）

生活環境の保全

- ・ 駅周辺での通勤者の歩行喫煙、夜間の瓶、缶、食品の投機、ペット犬の糞尿等の対策は強硬策を導入すべき。
- ・ 生活環境の保全について鳥獣保護・・・について今年度天王台西公園でカラスの巣（子育て？）で歩行者への危害がありました、市役所の定期的な点検と市民の協力体制が後手に回ったように思えます～もっと早め早めの情報提供があったならばと感じますが、その辺について今後どのようにしていきますか
- ・ 30年前の合成洗剤利用による手賀沼水質悪化の時期から大きく時代は変化しているので、石けん利用協議会を慣習的に記載するのは検討する時期に来ているのではないかな？
- ・ 直ぐに対処しなければならない物と、中長期的に取り組まなければならない物が有る中では十分ではないかと思う。
- ・ 役所的な縛りや規制ばかりではなく、地域の実情にあった柔軟な対応をしていければ良いのではないかな。
- ・ 犬や猫の糞害や歩きたばこなど、日常・恒久的に対応しなければならない物については、さらに継続する事で、より良くなるように環境作りをしてほしい。
- ・ 駅周辺で未だにタバコのポイ捨てを見かけることがある。条例の情報発信・啓発活動が必要と思います。
- ・ 自動車の排気ガスについて、一時期は大変厳しく取り締まりをしていたが、現在はそうでもなく時々排気ガスをだしている車が見られる。取り締まりの様子もない。
- ・ 天王台地区では近くにカラスの集まる山林があり夜が明けると住宅地飛来大きな鳴き声で住民は困っている。又乳幼児にとっても危険である。

施策推進のための横断的な取り組み

市民とともに作る協働によるまちづくりの推進

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見（令和3年10月11日 時点）

市民の自主的な公益活動の推進

- ・自治体活動助成金は不要ではないか。自治会とは何かを考えた場合安易な補助金は好ましくない。公益活動等に対して検証の上、実績を評価し助成したらどうか。
- ・主な取組について、退職した元気な高齢者等に長年培った経験・スキルを市民公益活動に活かしてもらえよう、活動に必要な学習の機会を提供し、地域団体等とのマッチングを図るといった内容も盛り込んだらよいと思います。また、生涯学習社会を目指した取組の推進という点も含めて記載したらいかがかと思います。
- ・自治会の地域住民相互の交流・親睦や地域の課題解決などの取組の充実を図るについて「親睦」について～旧態以前の集会后食事会を実施していますが、時代にそぐわない・・・もっと負担にならない方法はないですか？例えば予算を使うのであれば参加者にそれなりのふるさと産品などを提供するとか～このコロナの影響で密室での会食はもはや開催することは難しい～「親睦」の在り方を考え直す良い機会です
※市サイドも会長（ベテラン）に任せっぱなし？～他の市はどうかでしょうか情報を教えてください
- ・慣習的に自治会活動助成金が交付されているが効果は上がっているのか？
少子高齢化が進み担い手の減少が少なくなっている状況では新たな市民自治活動を検討する時期に来ているのではないか？
組織だって動いている自治会とそうでない自治会等で活動状況に応じた支援が必要ではないか？
- ・コロナ禍の前は、私の所属している自治会では秋の防災集会と題して、飲食会を開催して近隣友好に助成金 300 円を使用していた。
- ・他の市町村と同等、それ以上のサービスを目指していると感じる。時勢的に、「自助・公助・共助」が伝えやすいので、さらにそれぞれの役割を認識してもらおうようにしてほしい。

- ・最近、我孫子駅改札横の教育委員会が管轄している掲示板に掲示できるもののカテゴリーに規制がかかり、掲示できるものが少なくなりました。広報あびこも誌面の都合があり、なかなか掲載が難しい点もあります。今後、掲示や掲載が可能なものは、ウェブで紹介していただけるなど、市民活動団体の情報発信について、紹介の幅が広がると良いと思います。
- ・あびこ市民活動ステーションの団体イベント情報もあまり記載がなく、各団体が申請しないのかもしれませんが、市民活動団体の情報がまとめて見られる場所を充実し、それらを広く認知してもらえると良いと思います。コロナ禍が収束したら、市民活動支援課やあびこ市民活動ステーションには、ぜひ積極的に取り組んでいただけると嬉しい。
- ・個人で開催している講座などは、さらに広報できる場がないのが実態です。
- ・市民に我孫子市の魅力を発信する、適切な情報を共有できる場をつくることはとても大切ですし、市外に向けて、我孫子のまちをアピールすることも大切と感じています。広報あびこ、市のホームページなどは、ぜひさらなる充実を期待します。
- ・スマートフォンアプリは、知らなかった！
- ・自治会は、地区の親睦をはかる為大切です。特に盆踊り、お祭りによって絆を深めることが大事です。又、独居者の引きこもり防止にもなります。
- ・自治会は、地区の親睦をはかる為大切です。・・・引きこもり防止にもなります。
↓
- ・この意見には、同感です。ただ、自治会運営の存続問題があると思いますので、対策を考えていただきたいと思います。また、コロナ禍や新しい生活様式の中、お祭り等は新たな規制が発生するかもしれません。その中でも親睦が図れるような工夫をして独居者の引きこもり防止につながれば良いと思います。

市政への市民参画の推進

- ・我孫子市は市民活動団体が積極的に活動していて、さらに NPO 法人なども多いと感じています。市民活動ネットワークという組織もあり、市民活動では一歩先を行っている自治体と思います。その活動をさらに推進できるような、助成金や我孫子市との協同の場づくり、意見交換会の開催など、さらに取り組んでいただけると良いと思います。

ます。

- ・コロナとともに生活していくこれからのあたり、どのように工夫していくかを考える必要があると思う。
 - ・コミュニティ活動を活性化するとありますが、具体的にはどのようなコミュニティ事業でしょうか？
 - ・インターネットを利用してより多くの市民の意見を取り入れてとありますが、インターネットを使えない市民の声が一切反映されないのではないのでしょうか。 "
 - ・地域のコミュニティ活動を活性化する～地域で支え合うしくみづくりを進め地域にあったコミュニティを展開するとありますが、文面だけを見ると何事も上手く進んでいるような印象を受けますが、地域のコミュニティに必ず市職員が出席するのか
 - ・本当に地域でリーダーシップを発揮してくれる方がいるのか全く不明確です～おそらく有事の時には混乱が発生します。だから地域コミュニティに取組み活動していくのですが、現状はまだ設置していない地区もあるとのこと～現状何%あるのですか？スタート地点に立っていない地区と過去何年も運営している地区と市側はどのようにとらえていますか？
 - ・簡単に「地域コミュニティ」と発信していますが現段階での課題はつかんでいますか？
どういう事が想定されますか？
- ※北海道で地震がありブラックアウトが起こった時～公園や学校の校庭にたくさんの車が押し寄せ、車で避難していました。それも「早い物順」でした、最近ではテントを持っている家庭が多く、近くの公園に早い物順にテントを張るような事が起こるかもしれません・・・それに対する市民へのPRが100%と認識されているように思えます＝コミュニティという組織で運営できるのでしょうか？あくまでも想定ですのでご了承下さい。
- ・地域会議の発展を図り新たな自治活動につながるようにPDCAを続けて欲しい。
 - ・「暮らしの便利帳」はこの時代に未だに必要なのか？
 - ・eモニターについて、謝礼を出すことを検討するなら、幅広い年代から万遍なく抽出された市民に e モニターを一年単位で依頼し、様々な課題に回答を求めて市政の課

題を抽出することは出来ないか？

- ・「広報あびこ」は近年内容が良くなっている。
- ・市民活動団体は市内でどの位あるか。またどのような内容の団体が教えてほしい。補助金交付の内容も！
- ・補助金検討委員会：市民5名の公表はしているのでしょうか。年間委員会は何回開催していますか？"
- ・コロナ禍における市民参加については、継続して考えて行ってほしい。これを機会としてリモートや行事への参加形態の窓口を大きくし、マイナンバー、DXなども活用するなど、改善方法に対するアイデアは沢山あると思う。今の時点では十分と言えるかもしれないが、変化が速い時代においてどう対応していくかが課題かもしれない。
- ・地域会議を発展させ、自治会・商店会・PTA・学校等が連携できる仕組みをより一層強化して欲しい。

施策推進のための横断的な取組

効率的・効果的な行財政運営の推進

・多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見（令和3年10月11日 時点）

効率的・効果的な行政運営の推進

- ・各種会議、審議会、委員会等の設置が多くはないか。本当に機能し評価できる内容になっているのか。また広く意見を集約するのはいいが、職員の主体性、専門性、やる気を失うことにならないか。効率的な行政運営に会議等は反作用を起こす側面もある。
- ・電算システム包括委託業務において行政と受託業者との関係について留意が必用。職員の理解度が不足すると業者の言うままになってしまうことが懸念される。
- ・デジタル化の推進により、将来紙ベースの住民票等の発行は不要になるのではなないか。既にデジタル化が進んでいる自治体に学んでほしい。未来の市役所はロボット職員の割合が多くなり、人はより高度の判断が必要とされるようになるのではなないか。
- ・「我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても進行がストップしている状況で「十分」とは言えません。これから進めていく内容ですので課題も「進行の遅れ」という事。それ以外のことで行政サイドのことは進めているわけですので課題は少ないと感じます。またP18の「市の住みよいまちづくり～企業においては地域の活性化及び市民サービスの向上を図る」とあります。新たに連携を検討する大学・企業について～調整を図りながら連携協定締結を行い～推進を図る」とあります。現段階での連携協定は大学では企業ではの情報を提供してください
- ・DXについての記述も加えた方が良い。
- ・IT人材については民間登用も検討した方が良いのではないかな？
- ・「国・県とのシステム連携がスムーズに出来るように常に検証を重ねていく」ことも必要ではないかな？
- ・湖北北地区には我孫子市で唯一近隣センターがないので、老朽化公共施設の集約を図ってほしい。

- ・具体的な内容については、その時々で、しっかりと効率的・効果的と考える事を進めるしかないと思う。結果ありきでは何も投資が出来ないので、リスクと時代をみていく事なのではないか。
- ・基本計画のスローガ的な内容を啓蒙活動としてを増やしても良い様な気がする。
- ・民営化の推進については、賛成ですが、市民団体からの委託・民営化の提案を募集する、となっていますが、なかなか採択されないように感じています。市民活動団体が、もっと委託を受けられるようになると、市民活動も活性化すると思います。
- ・我孫子市には、あまり特産品がないように思います。・・・取り組みが必要では。
↓
- ・この意見にも同感です。アビシルベに立ち寄ってもお土産に購入して知人に差し上げるような品が少ないと思います。例えば、八王子市の創価大学の学生と地元の銘菓店が協同して「シュリーまん」を販売しています。（シュリーマンはトロイ遺跡を発掘したドイツの考古学者）我孫子にも「白樺派の文人」「嘉納治五郎」等著名人が住んでいました。そこで、同じようですが、著名人の似顔絵の焼き印を饅頭やどら焼き等に押し販売することはいかがでしょうか？似顔絵は、我孫子市にある大学の学生の考案がいいと思います。最近、志賀直哉邸書斎跡の補修工事を「さとふる」のふるさと納税で募るといった新聞記事がありました。その後も維持費がかかるでしょうから、そのお菓子の売り上げの一部を維持費に充てたりする。ということも可能ではないでしょうか。

健全で安定した財政運営

- ・使用料、手数料の見直しは市民活動の低下をもたらし、財政健全化への寄与度は低いのではないかと。
- ・我孫子市は他市と比べて公共施設が多すぎ財政負担を大きくしていないか。
- ・ふるさと納税について特産品のPR だけにとどまらず、我孫子市に訪訪してもらえりような情報発信手段として利用する視点も加えて欲しい。（実際に行われている手賀沼花火大会への招待を更に発展できる手法）
- ・効率的・効果的と同じような部分もあり、難しい課題ではあるが、サービスに対するコストをきちんと伝えて行く事が必要だと思う。個人においては将来、未来世代への負担について説明した上で、社会福祉費用の増加を伝えるべきであるし、事業者につ

いてはインボイス制度についてしっかり対応する事が、より安定した行財政運営につながっていく。という事を商工会・その他団体と共に進めて行く必要がある。情報発信と理解を得る活動につきる。

- ・我孫子には、あまり特産品がないように思います。新たに市と市民とが協同で、ふるさと産品をプロデュースするなどの取り組みが必要では。

施策推進のための横断的な取り組み

戦略的なシティプロモーション

市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定着と市外の方の移住促進を図ります。

■現在の市の取組に対する総計審委員のご意見（令和3年9月27日 時点）

戦略的なシティプロモーションの推進

- ・市のイメージアップや認知度の向上・・・とありますが、常磐線の乗換駅である日暮里駅や上野駅でのプロモーション事業展開はいかがでしょうか？
- ・主な取組として、市民向けには、地域の魅力を再認識してもらい、地元への愛着や誇りを醸成するといったことも意識して行うとよいと思います。
- ・いろいろなプロモーション事業に取り組んでいるのは分かります、文面では市民からの・・・市民と一緒に情報発信を行うとありますが具体的にはどのように進めるのですか？教えてください
- ・結果が約束されない事に対する取り組みであるため、その時々で、しっかりと効果的と考える事を進めるしかないと思う。時代にあったプロモーション。あえて外したプロモーションなど、狙いをしっかりと伝えて行く事なのではないかと思う。
- ・過去の総計審で常に課題となっていること、行政サイドも認識があると思いますがファシリテーターの存在があるのかなのか知りたいです。
- ・我孫子市のプロモーションについては、せっかく「魅力発信室」も設けたことですし、どんどんやって欲しいと思います。
- ・教育や商業観光面含めたあらゆる場面で「市民が誇りと愛着を持てるまち」につながるようにPRすることがシティプロモーションの第一歩のように感じる。